

小城市の取り組み状況について(生活支援体制整備事業)

資料

小城市役所 高齢障がい支援課 地域包括推進係

生活支援コーディネーター(ＳＣ)

- ・地域の現状(困りごとや必要とされていること、地域資源など)を把握。
- ・住民の人たちと自分たちができることを話し合い、課題解決に向けてサポート！
- ・地域の繋がりを大切にし人と人をつなぐ役割を担う。
⇒色々なものをつなぐ専門職。

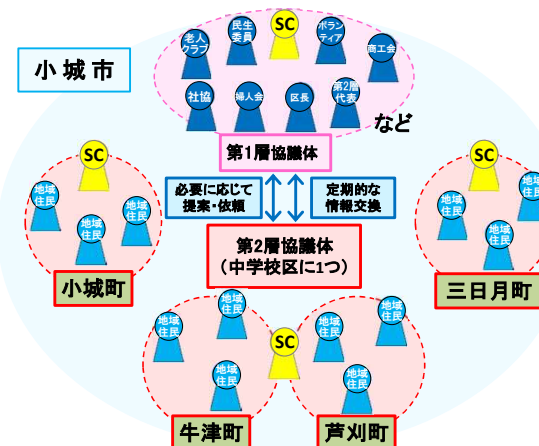


協議体

- ・地域の課題や住民ニーズに対して、地域住民自らが様々なアイデアを出し合い、安心して暮らしているための地域づくりを考える。
- ・参加者は、一般市民、団体代表等

日常生活圏域 3圏域(地域包括支援センター:3センター)

第1層協議体: 1協議体 第2層協議体: 4協議体



小城市における これまでの取り組み ~ 現在 まで

平成28年度

- ・市民公開講座の開催(H29年1月)
- ・「介護予防と地域づくり勉強会」の開催(H29年3月)

町ごとで、話をしたらどうだろう？

買ったものを届けるだけならボランティアできるかも。

〇〇地区は行商の車が来ていると聞くけど、△△地区には行けないのかな？

平成29年度

- ・「介護予防と地域づくり勉強会」の開催(計2回)
- ・「町ごと勉強会」の開催(計2回)
- ・市民公開講座の開催(H30年1月)
- ・第2層協議体会議(4町合同)の開催(H30年3月)

!!第2層協議体の発足!!

「町ごとの介護予防と地域づくり勉強会」開催

- ・各町の地域特性や実情を共有
- ・「あったらいいな」や「これならできそう」など意見交換→案として提示。
- ・イメージを共有し、さらに深める。

「勉強会」から第2層協議体へ!!

- ・「付き添い(外出)支援」「買い物支援」「ゴミ出し支援」を考える。
- ・各町で3つの支援に関するアンケート調査の実施。
- ・アンケート結果をもとに具体的に支援できるルールを検討。

平成30年度

- ・!!第1層協議体の発足!!
- ・第1層協議体会議の開催(計2回)
- ・第2層協議体会議の開催(計4回)
- ・「困りごとアンケート」の実施。ニーズ調査



- ・市民公開講座の開催(H31年1月)
- ・第2層協議体会議(4町合同)の開催(H31年3月)



第2層協議体での参加メンバーからの意見

付き添い支援

- ・利用目的は「通院」「買い物」「集いの場への送迎」
- ・活動中に事故が起きた時はどうしようか

買い物支援

- ・買い物代行にしようか…同行にしようか…
- ・利用回数は、週1回か2回で検討していこう

ゴミ出し支援

- ・ゴミは、自分でまとめてもらう
- ・顔を合わせてゴミを受け取り、コミュニケーションも大事にしよう!

...など

令和元年度

- ・“小城市支えあいセンター”設立
→「買い物支援」「ゴミ出し支援」の開始!
- ・第2層協議体会議(4町合同)の開催(R1年5月)
- ・第2層協議体会議の開催
小城市(計3回)、三日月町(計4回)、牛津町(計3回)、芦刈町(計3回)
- ・第1層協議体会議の開催(R1年10月)
- ・外出支援研修会(計2回) ・外出支援検討会(計3回)
- ・市民公開講座の開催(R2年1月)

その他の意見...

料金の支払いは、チケット制にしよう!



取りまとめをする事務局があった方が良さんじゃないか...

事務局は、社会福祉協議会が良さそう!

令和2年度

- ・新型コロナウイルス感染症拡大により、ボランティアの活動自粛
→5月より活動再開「買い物支援」「ゴミ出し支援」を継続!
- ・支えあいセンター登録者の増加・・利用ニーズの高まり
- ・「付き添い支援」の試行スタート!!(R2年10月~)
- ・第2層協議体会議の開催(各町にて)(R2年7月・9月・11月)
→地域づくりの取り組みや、支えあいセンターの活動を周知していくための広報について話し合い
!!仲間を増やし、市全体へ広げて行こう!!
- ・第1層協議体会議の開催

支援開始に向けて

第2層協議体(住民)の意見をまとめ、小城市社会福祉協議会へ提出!

平成31年4月
小城市社会福祉協議会に「小城市支えあいセンター」設立

「小城市支えあいセンター」を事務局として、住民ボランティアの活動スタート!



現在

- ・支援の利用が年々増加中!
→ボランティアの確保が課題となっている

- ・第2層協議体会議の開催(各町にて)
→地域での集いの場づくり、協議体の周知活動・仲間づくりへの取り組み
- ・「支えあいのある地域づくりを考える勉強会」の開催(年数回)